



# 川や海を汚さないために、公共下水道に接続しましょう



## 人が使える水の量は、たったこれだけ

(1辺の長さは35km。およそ羽幌から小平までの距離)

## 地球がこれくらいの大きさだったら

(地球の直径はおよそ1273万5000km)

### 浄化槽の検査を忘れずに

現在、公共下水道の処理開始区域内で図参照で以前からの浄化槽のままの世帯がまだ多くあります。

浄化槽は1年1回の法定検査、年3回の整備点検と管理することが多くあり、中には法定検査や整備点検がおろそかになっている家庭も見受けられます。

そこから出てくる排水はきれいでしょ？ きちんと浄化されていない排水は、福寿川などに流れ込んで川を汚し、海を汚し、地球を汚します。



そして、川の水をきれいにし、海をきれいにしてよりよい環境を未来の子どもたちに引き継ぎましょう。

現在、処理開始区域内の約4割の方が、下水道に接続し利用されています。接続された方からは、環境にやさしいだけではなく、臭いが少ない「虫が出なくなつた」といった声もお聞きます。

なお、処理開始区域になつて3年以内に接続工事を行う場合、補助金を支給したり、資金面で接続が難しいという方には、無利子で接続資金のあっせんをしています。

公共下水道の処理開始区域では、法定検査や整備点検の必要のない公共下水道に接続しませんか？  
また、処理開始区域外では合併浄化槽の法定検査、整備点検を必ず行いましょう。

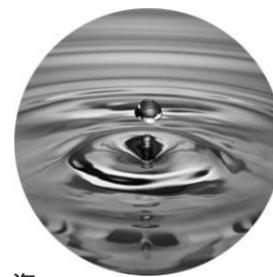
公共下水道計画区域外の離島地区・原野地区の一般家庭で合併浄化槽を設置する場合も補助金が出ます。  
詳しくはお気軽に町民課または建設水道課までお問い合わせください。

### 知ってますか？ 水のこと

私たちの大切な資源「水」。みなさんはどれだけ水のことを知っていますか？

実際の海水の量は12億立方キロメートル。多そうに思えますが、直線距離で羽幌から東京まで1000kmです。この長さを一辺とする真四角な箱1杯分です。

なお、北極海の氷は海水とします。

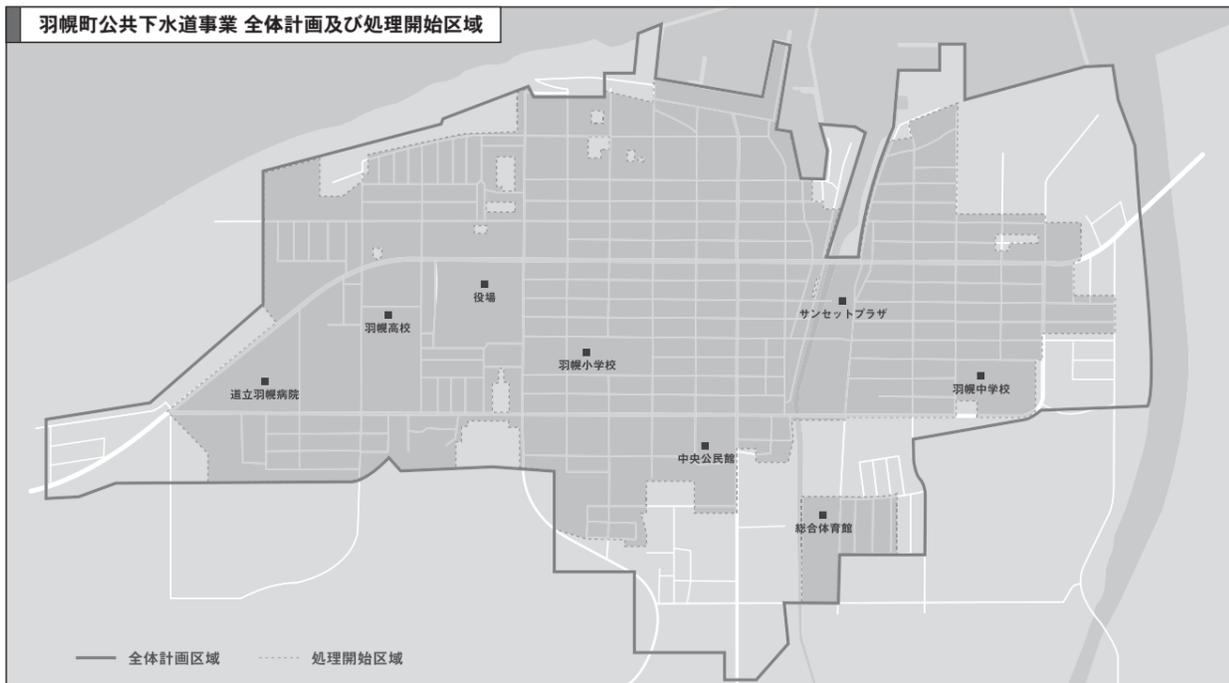


ただ、この淡水のほとんど90%以上は南極の氷なんです。この中で人間が使える水の量は4万3000立方キロメートル。羽幌から小平までの35km。この長さを一辺にしたほんの小さな箱1杯分しかありません。

たったこれだけしかないのに、私たちは工場排水や家庭からの生活排水、ゴミを流し、川や海をどんどん汚しています。川の汚れの8割以上は家庭の台所や洗濯機、お風呂場からの生活排水が原因と言われています。

それでは、淡水の量はどのくらいあるでしょうか。淡水には川、湖、地下水、氷河、南極の氷などがあります。実際の量は3700万立方キロメートル。直線距離で羽幌から函館まで330kmありますがこの長さを一辺とする真四角な箱1杯分です。

公共下水道や合併浄化槽へ接続することで、生活排水が川へ流れていくのを防ぐことができます。



お問い合わせ 下水道：建設水道課下水道係(内線322・323・325) 自然環境・浄化槽：町民課環境衛生係(内線105)